

診療科紹介

眼形成眼窩外科

眼形成眼窩外科部長 笠井 健一郎



1. 『眼形成眼窩外科』の3つの特徴

1 眼の周囲 (図1)

『眼形成眼窩外科』は、視覚器のうち、眼の周囲である眼付属器 (副眼器) (=眼瞼、結膜、涙器、及び眼窩など) を主な対象部位として扱う診療科です。

2 視機能の考慮

『眼形成眼窩外科』の最大の特徴は、「眼科医」が常に視機能を考慮した診療を行うことです。

また、この分野は、眼科、形成外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、及び口腔外科など複数の診療科との境界領域となります。必要があれば、『眼形成眼窩外科』を中心に、他の診療科 (各分野の専門家) とも協力して、より高度な診療を行う場合もあります。

3 貴重な専門性

『眼形成眼窩外科』は専門性が高いため、まだ全国にも少ないのが現状です。そのため、『眼形成眼窩外科』を有する医療施設は、大変貴重な存在といえます。

2. 主な対象疾患 (表1)

表1: 主な対象疾患

部位	病名	部位	病名
1) 眼瞼	上眼瞼皮膚弛緩症	4) 眼窩	眼窩炎症
	眉毛下垂症		眼窩骨折
	睫毛内反症		結膜下眼窩脂肪ヘルニア
	睫毛乱生症		眼窩腫瘍
	眼瞼下垂症	5) 涙道	先天鼻涙管閉塞症
	眼瞼内反症		涙道狭窄症
	眼瞼外反症		涙道閉塞症
	眼瞼後退症		涙小管炎
	兔眼症		涙嚢炎
	眼瞼裂傷		涙小管断裂
眼瞼腫瘍	涙道腫瘍		
2) 結膜	結膜弛緩症	*眼表面がんを除く	
	翼状片		
	結膜腫瘍*		
3) 眼球	無眼球症		
	小眼球症		
	眼球癆		
	義眼		

※当科は外科のため、対象疾患は外科的治療の適応疾患に限られます。

※当院は保険診療機関のため、自由診療は行っていません。

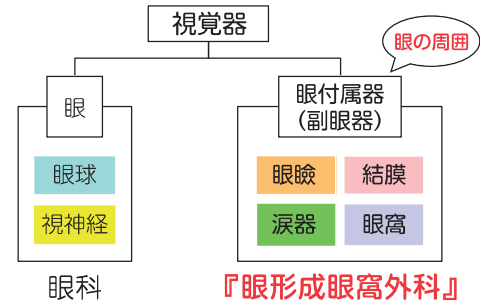


図1: 『眼形成眼窩外科』と視覚器

3. 現状

眼形成眼窩外科は、2016年4月に診療科を立ち上げ、同年10月から外来診療を、同年11月から手術加療を開始し、7周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様のお力添えのおかげでございます。心から感謝申し上げます。

また、近隣の医療機関におかれましては、多数の患者さんをご紹介いただきまして、誠にありがとうございます。

4. 今後

今後は、診療科の立ち上げから充実へ移行し、可能な限り、より多くの重症患者さんや高度な技術を要する患者さんに対応した診療ができるよう、努力していく所存です。

『眼形成眼窩外科』は限られた狭い領域ですが、当科で扱う疾患は他科領域とも密接に関係しています。群馬県内の医療機関に限らず、院内外の様々な診療科と病診連携を深めて、患者さんのために、より良い診療を行えることを切に願っております。

ご不明な点がございましたら、遠慮なさらず、お気軽にご相談ください。

至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると存じますが、今後も地域の患者さんのお役に立てるよう精進して参りますので、より一層のお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。